

## 坂出市再編新校（前期）整備事業設計施工一括発注プロポーザル２次審査評価要領

坂出市再編新校（前期）整備事業設計施工一括発注プロポーザル２次審査評価要領（以下「本評価要領」という。）は、本プロポーザルにおける２次審査の評価方法について記載したものであり、坂出市再編新校（前期）整備事業設計施工一括方式事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において、本評価要領に基づき評価を行い、最優秀者及び優秀者を各１名選定するものである。

### １ 評価方法

本評価方法は、評価項目ごとに評価を行い、評価点の合計点を提案者の評価点とし、最高得点を最優秀者に、次点を優秀者に決定する。

なお、提案者の選定委員会委員評価による評価点が480点に満たない場合は、受注候補者として選定しない。

### ２ 評価項目と評価点の配点

評価点は、820点満点とし、評価項目及び評価点の配点は、次のとおりとする。

- |             |      |
|-------------|------|
| （１） 業務の実施方針 | 160点 |
| （２） 技術提案    | 640点 |
| （３） 坂出市内業者  | 20点  |

### ３ 選定委員会委員評価項目ごとの評価判断基準と各委員の評価

#### （１） 業務の実施方針

業務の実施方針の評価点は160点満点（20点×8人）とし、次の判断基準の項目ごとに５段階評価で評価点を算出する。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評価点	
業務計画の的確性、妥当性、実現性、独創性	①業務を実施する上での課題把握の的確性 ②実施方針の的確性、実現性、独創性 ③実施体制の的確性、妥当性 ④要求水準確保のための考え方、手段の妥当性、実現性、独創性	特に優れている	5
		優れている	4
		普通	3
		やや劣る	2
		劣る	1

#### （２） 技術提案

技術提案の評価点は、４つのテーマごとに評価点を算出する。

評価点は、テーマⅠ 20点、テーマⅡ 10点、テーマⅢ 30点、テーマⅣ 20点、計80点×8人で640点満点とし、判断基準の項目ごとに評価点を算出する。

## ■技術提案（テーマ）

### 【テーマⅠ】 外観デザインへの配慮

- ・駅前拠点施設（坂出市中心市街地活性化公民連携事業）、坂出市役所等が近傍である建設地（中心市街地）における景観に調和した外観デザイン。
- ・電車や地表からの眺望を考慮しつつ街のシンボルとして人々に印象付けられる特徴的で美しい外観デザイン。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評価点	
テーマⅠ	①駅前拠点施設、坂出市役所等が近傍である建設地における景観に調和した外観デザインか。 ②電車や地表からの眺望を考慮しつつ街のシンボルとして人々に印象付けられる特徴的で美しい外観デザインか。	特に優れている	10
		優れている	8
		普通	6
		やや劣る	4
		劣る	2

### 【テーマⅡ】 開放的で広々としたロビー

- ・駅前拠点施設（坂出市中心市街地活性化公民連携事業）の図書館等も含めて児童、生徒に一体的な利用を促す様な、街に開かれたロビー空間。
- ・利用者、来訪者の印象に残る再編新校として特徴的なロビー空間の創出。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評価点	
テーマⅡ	①駅前拠点施設の図書館等も含めて児童、生徒に一体的な利用を促す様な、街に開かれたロビー空間か。 ②利用者、来訪者の印象に残る再編新校として特徴的なロビー空間を創出しているか。	特に優れている	5
		優れている	4
		普通	3
		やや劣る	2
		劣る	1

### 【テーマⅢ】 「楽しさ・豊かさ・美しさ」を具現化する学校づくり

- ・子どもたちが来て楽しい学校となる様な、好奇心、遊び心を創出する空間構成。従来の学校のイメージにとらわれず、今後の多様な学習スタイルに対応でき、可変性のある学校。
- ・内装木質化により子どもたちがリラックスして学習に集中できる落ち着いた環境、自然のぬくもりを感じられる学校となる様な内部空間。
- ・アクティブ・ラーニング及びインクルーシブ教育が実現可能な学校環境。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評価点	
テーマⅢ	①子どもたちが来て楽しい学校となる様な、好奇心、遊び心を創出する空間構成。従来の学校のイメージにとらわれず、今後の多様な学習スタイルに対応でき、可変性のある学校となっているか。 ②内装木質化により子どもたちがリラックスして学習に集中できる落ち着いた環境、自然のぬくもりを感じられる学校となる様な内部空間となっているか。 ③アクティブ・ラーニング及びインクルーシブ教育が実現可能な学校環境になっているか。	特に優れている	10
		優れている	8
		普通	6
		やや劣る	4
		劣る	2

【テーマⅣ】 建設工事費上昇への対策・安全面を担保した上での実現可能な工程管理

- ・全体事業費のコントロール方策について、昨今の資材や労務費の上昇に伴う建設物価高騰が続く状況下において、数年に渡る本事業を遂行するに当たり全体事業費の増大が重点課題となる。これに対する事業者の対策提案。
- ・本事業は、校舎棟、屋内運動場、仲よし教室（放課後児童クラブ）など様々な新築施設要素があり、既存施設を利用しながらでの解体工事、新築工事が行われる複雑なプロジェクトである。設計段階、新築工事段階、解体工事段階において予見される様々なリスクを考慮して、実現可能な範囲で工程短縮を図り、令和12年4月再編新校開校を必ず実現可能な工夫・工程設定などの提案。また、令和12年4月開校後の工事（既存校舎等解体工事、外構整備工事など）についても、安全面・騒音に配慮した工程管理の提案。

評価項目	判断基準	判断基準ごとの評価点	
テーマⅣ	①全体事業費のコントロール方策について、昨今の資材や労務費の上昇に伴う建設物価高騰が続く状況下において、数年に渡る本事業を遂行するに当たり全体事業費の増大が重点課題となる。これに対する事業者の対策提案がなされているか。 ②本事業は、校舎棟、屋内運動場、仲よし教室など様々な新築施設要素があり、既存施設を利用しながらでの解体工事、新築工事が行われる複雑なプロジェクトである。設計段階、新築工事段階、解体工事段階において予見される様々なリスクを考慮して、実現可能な範囲で工程短縮を図り、令和12年4月再編新校開校を必ず実現可能な工夫・工程設定などの提案がなされているか。また、令和12年4月開校後の工事についても、安全面・騒音に配慮した工程管理の提案がなされているか。	特に優れている	10
		優れている	8
		普通	6
		やや劣る	4
		劣る	2

#### 4 事務局評価項目

(1) 坂出市内業者

施工業務を担当する参加者のうち、1 人以上が坂出市内に本社又は本店を有する者である場合、評価点20点を加算する。

以 上